

Photo Gallery



七越夕景



熊野川



天然温泉公衆浴場(はまゆ)



川湯温泉



仲之町商店街



勝浦漁港



湯の峰温泉



旧西村家住宅(西村伊作記念館)



JR紀伊勝浦駅前



紀伊山地の
霊場と参詣道



歩くともっと好きになる。



熊野三山 まちあるきマップ



新宮市観光協会

〒647-0020 新宮市徐福2-1-11
(JR新宮駅前 熊野御坊南海バス株式会社1階)
TEL 0735-22-2840
営業時間:9:00~17:00



(一社) 那智勝浦観光機構

〒649-5335 東牟婁郡那智勝浦町築地6-1-4
(JR紀伊勝浦駅足湯前)
TEL0735-52-5311
営業時間:9:00~18:00



熊野本宮観光協会

〒647-1731 田辺市本宮町本宮100-1
(世界遺産熊野本宮館内)
TEL 0735-42-0735
営業時間:9:00~17:00



熊野三山観光協会

事務局:和歌山県東牟婁振興局地域づくり課
〒647-8551 和歌山県新宮市緑ヶ丘2-4-8
TEL 0735-21-9649
営業時間:9:00~17:45(平日のみ)

世界遺産

「紀伊山地の霊場と参詣道」

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、和歌山県・奈良県・三重県にまたがる3つの霊場（熊野三山、高野山、吉野・大峯）と参詣道（熊野参詣道、高野参詣道、大峯奥駈道）で、世界遺産として2004年に登録されました。和歌山県南東部では、熊野三山やそれらをつなぐ参詣道である「熊野古道」の一部などが世界遺産に登録されています。また、2016年にはユネスコ本部で開催された臨時の世界遺産委員会において、軽微な変更提案が承認され、構成資産の追加登録が行われました。

熊野速玉大社



御神木「榊(なぎ)」



熊野川



阿須賀神社



神倉神社

熊野に信仰心を見出して、多くの人々が艱難辛苦の旅に出た理由とは？

熊野の山々の気高さと大自然。その中に極楽浄土を見出し、「ただただ救われたい」という一心で多くの人々が熊野に憧れを抱き、蘇りを願って異郷の地とも思える山深いこの地を目指したのでしょう。その様子は、「蟻の熊野詣」とまで形容されました。

大峯奥駈道



大日越

熊野本宮大社～湯の峰温泉



小雲取越

熊野本宮大社～小口



大門坂

熊野古道 中辺路

妙法山阿彌陀寺

熊野古道 小辺路



発心門王子



伏拝王子



つぼ湯



大雲取越

小口～那智山



かけぬけ道

那智山～妙法山阿彌陀寺

熊野古道 大辺路



駿田峠



補陀洛山寺

熊野本宮大社



大斎原

高さ34mの大鳥居



赤木越

赤木越分岐～湯の峰温泉

熊野那智大社



熊野那智大社 提供



那智の滝

落差133m 直瀑日本一の大滝

那智山青岸渡寺



大黒天堂(如法堂)

豊臣秀吉が再建



- 主要道路
- 自動車専用道路
- JR
- 熊野古道 大辺路
- 熊野古道 中辺路
- 熊野古道 伊勢路
- 熊野古道 小辺路
- 大峯奥駈道

本宮

HONGU

緑と川と湯けむりと、
自然の恵みが満載！

3 発心門王子



1 ちょっとよりみち展望台



2 湯の峰温泉



3 湯筒

湯の峰温泉 つぼ湯

4

渡瀬温泉

12

喫茶こぶち

6

11

川湯温泉



4 川湯温泉郷

熊野本宮大社

1

cafe alma

7

手づくりのパン

8

お食事しもし

9

茶房「靖」

10

大斎原

2



5 横から見る大鳥居



6 田辺市本宮町の街並み



1 熊野本宮大社

くまのほんぐうたいしゃ



紀元前33年に3つの川の合流点の中州「大斎原」に創建。1889(明治22)年の大洪水後、流出を免れた上四社を現在地に移築・遷座しています。熊野古道「中辺路」ルートで最初にたどり着く場所で、杉木立に囲まれた古式ゆかしい檜皮葺の社殿は国の重要文化財にも指定されています。

【時間】8:00~17:00 【休日】年中無休 【駐車場】近隣に有
【問合せ】0735-42-0009(熊野本宮大社)

2 大斎原

おおひらの



熊野本宮大社の旧社地で、2000(平成12)年に建立された高さ34mの大鳥居がそびえています。現在は、流失した中四社・下四社をまつる石造の小祠が建てられています。周りは田んぼに囲まれていてすぐ横には熊野川が流れており、さわやかな風が流れる心地よい場所です。

【時間】散策自由 【駐車場】近隣に有
【問合せ】0735-42-0009(熊野本宮大社)



3 発心門王子

ほっしんもんおうじ



熊野本宮大社の神域の入口とされており、熊野九十九王子の中でも最も格式の高い五体王子のひとつに数えられていました。発心門王子から熊野本宮大社まで歩くコースは熊野古道「中辺路」のゴールデンルートとも呼ばれ、ウォーク初心者でも手軽に楽しむことができます。

【時間】散策自由 【駐車場】無
【問合せ】0735-42-0735(熊野本宮観光協会)



5 世界遺産 熊野本宮館

せかいいざんくまのほんぐうかん



「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録された後、2009年にオープン。世界遺産や和歌山県の魅力を幅広く紹介する和歌山県世界遺産センターや熊野本宮観光協会が設置されており、分かりやすい展示を通して熊野信仰や世界遺産について学ぶことができます。

【時間】9:00~17:00 【休日】年中無休 【駐車場】敷地内に有
【問合せ】0735-42-1044(和歌山県世界遺産センター)
0735-42-0735(熊野本宮観光協会)



7 cafe alma

かふえあるま



熊野本宮大社の静かな境内に行っており、清らかな熊野の空気とともに味わうコーヒーは、ここでしか出会えない特別な時間を届けてくれます。自家焙煎したこだわりのコーヒーと、熊野古道周辺で採れた日本はちみつを使った「くまみつかステラ」がおすすめです。

【時間】10:00~16:00 【休日】不定休 【駐車場】近隣に有
【問合せ】080-9508-1125



9 お食事しもし

おしょくじしもし



熊野牛や南高梅、地元の野菜などをふんだんに使ったランチメニューが揃います。ソースやドレッシングも丁寧に仕込んだ自家製。和菓子「うすかわまんじゅう」は、昭和初期から代々受け継がれているこだわりの逸品で、食べ歩きのほかお土産にも喜ばれています。

【時間】9:00~15:30(平日~14:30) 【休日】水 【駐車場】有
【問合せ】0735-42-0312(お食事しもし)



11 川湯温泉

かわゆおんせん



川底から70度以上の源泉が絶えず湧き出しており、川原を掘れば簡単に温泉が湧いて出ることから「川湯」の名になりました。夏は清流で川遊びを、12月~2月は大きな露天風呂「仙人風呂」が登場して開放感溢れる温泉を楽しめます。近くには公衆浴場もあります。

【時間】散策自由 【休日】年中無休 【駐車場】有
【問合せ】0735-42-0735(熊野本宮観光協会)



4 湯の峰温泉 つぼ湯

ゆのみねおんせん つぼゆ



開湯1800年以上もの歴史があり、日によって7回色が変わると言われる天然の岩風呂「つぼ湯」は熊野詣を行う人々の湯垢離場として使用されてきました。日本で唯一、世界遺産に登録かつ入浴可能な温泉です。温泉郷内には公衆浴場や卵や野菜をゆでられる湯筒もあります。

【時間】6:00~21:00 【休日】年中無休 【駐車場】近隣に有
【問合せ】0735-42-0070(四村川財産区事務局)



6 喫茶 こぶち

きっさこぶち



川のほとりに佇む老舗の喫茶店。店内からは、熊野川の支流である透き通る大塔川を望むことができます。なかでも川で捕れた鮎の甘露煮や塩焼きはイチオシ。高菜漬けてご飯を巻いた熊野地域の郷土料理「めはり寿司」もぜひ一緒に召し上がってみてください。

【時間】11:00~14:00(※完全予約制)、17:00~19:30 【休日】不定休
【駐車場】有 【問合せ】0735-42-0432(喫茶こぶち)



8 手づくりのパン マーブル

てづくりのぱん まーぶる



観光客はもちろん、地元客にも愛される町のパン屋さん。無添加にこだわった手づくりパンは、食べるとホッと心が温まります。湯の峰温泉の恵みを利用した「温泉たまごパン」は、本宮町ならではの味わい。アットホームな雰囲気、思わず足を運んでしまいます。

【時間】11:00~18:30 【休日】月・火 【駐車場】無
【問合せ】090-4900-2071(手づくりのパン マーブル)



10 茶房「靖」

さぼうせい



大斎原の大鳥居を望む店内で、サイフォンでじっくり丁寧に淹れたコーヒーや地元食材を使用した食事、自家製ケーキを味わうことができます。食器には店奥で作られたガラス器が使用されています。熊野川の清流を移したようなガラス器は、ファンも数多い作品です。

【時間】9:00~17:30 【休日】水 【駐車場】有
【問合せ】0735-42-0147(茶房 靖)



12 渡瀬温泉

わたせおんせん



西日本最大の露天風呂やコテージ、キャンプ場などアウトドアをいっぱい楽しむことができます。近隣の宿では温泉水を使用した「温泉がゆ」やしゃぶしゃぶなどの料理も味わうことができます。体の中からも外からも温泉を味わい尽くすことができると好評です。

【問合せ】0735-42-0735(熊野本宮観光協会)



新宮

SHINGU

歴史と文化が息づく
旧城下町。

13 熊野速玉大社

くまのはやたまたいしゃ

熊野速玉大神(くまのはやたまのおおかみ)・熊野夫須美大神(くまのふすみのおおかみ)の夫婦神が主祭神。境内には樹齢千年の御神木・ナギの木が壮大な樹幹を展開。ナギの葉はちぎれにくく、「縁が切れない」として、開運や縁結び、災厄除けのお守りとしても親しまれてきました。

【時間】日の出～17:00(授与所は8:00～17:00) 【休日】年中無休
【駐車場】境内に有(無料) 【問合せ】0735-22-2533(熊野速玉大社)

世界遺産



17 熊野川川舟センター

14 神倉神社

かみくらじんじや

538段の急な石段を登った上にある御神体のゴトビキ岩は熊野の神々が最初に降臨した場所とされ、傍からは新宮市内と熊野灘が一望に。毎年2月6日は「御燈祭り(国重要無形民俗文化財指定)」が開催され、白装束を纏った上り子が松明を持ち、まるで「火の滝」のように駆け下ります。

【時間】境内自由 【休日】年中無休 【駐車場】境内前に有(無料)
【問合せ】0735-22-2533(熊野速玉大社)

世界遺産



新宮城から見る熊野川



高野坂から見る王子ヶ浜

15 阿須賀神社

あすかじんじや

2016年10月に世界遺産に追加登録された古社で、熊野川河口近くの蓬萊山の麓に鎮座しています。秦の始皇帝の命を受けた徐福が上陸したのが阿須賀神社の建立地と伝えられています。弥生時代の竪穴式住居や祭祀用具が出土しており、境内には歴史民俗資料館も併設しています。

【時間】境内自由 【休日】年中無休 【駐車場】境内に有(無料)
【問合せ】0735-22-3986(阿須賀神社)

世界遺産



16 高野坂

こうやざか

熊野古道「中辺路」ルートの一部であり、熊野灘の絶景と趣ある石畳、大きな波の音などを楽しみながらゆったり緩やかなウォークを楽しむことができます。道中には古社や日本遺産「鯨山見跡」など見どころがたくさんあり、自然と歴史を体感できるスポットです。

【時間】散策自由 【駐車場】有
【問合せ】0735-22-2840(新宮市観光協会)

世界遺産



17 熊野川川舟センター

くまのがわかわふねせんたー

語り部の案内のもと、川の参詣道「熊野川」を当時の熊野詣のように川船で下ります。雄大な深谷や奇岩など地上からは見ることのできない風景にきっとあなたも心奪われるはず。熊野の悠久の歴史に思いを馳せながら、ぜひ川の参詣道を通って熊野速玉大社に詣てください。

【時間】9:00～17:00、出船時間(10:00、14:30) 【休業期間】12月～2月
【駐車場】道の駅「瀨峡街道 熊野川」に有 【問合せ】0735-44-0987(川舟センター)



18 むらたこ

むらたこ

熊野速玉大社前の川原横丁にある小さくてアットホームなたこ焼き屋。夏はかき氷やソフトクリーム、それ以外の季節はたこ焼きを販売しています。一体どんな味わいなのか一見分からない独特なネーミングセンスのたこ焼きは、どれも長年地元で愛される自慢の味です。

【時間】12:00～18:00 【休日】月・火 【駐車場】無
【問合せ】0735-21-4641(むらたこ)



19 松葉屋

まつばや

知る人ぞ知る和菓子の名店。商品は「大納言かん」と「天の川」の2種類です。半透明に透き通った琥珀糖の中に小豆の入った銘菓「天の川」は、寒天のシャリシャリとした食感と小豆の風味を楽しむことができ、栗や青えんどうなど季節に応じた限定の味があることも。

【駐車場】無し 【問合せ】0735-22-5435(松葉屋)



20 きゃろっと

きゃろっと

商店街の中にある1982年創業の喫茶店で、店名でもあるきゃろっとのロゴがチャームポイント。海の幸ピラフや手作りケーキがおすすめの商品です。徐福が求めた不老不死の霊薬とも言われる木・天台烏薬(てんだいうやく)を使ったゼリーもここならではの一品。

【時間】9:00～17:00 【休日】木 【駐車場】国道沿いに有
【問合せ】0735-23-1145(きゃろっと)



21 仲氷店

なかこおりてん

地元の人にも人気の老舗かき氷屋。清流・古座川の水を72時間かけてゆっくりじっくり凍らせた純氷をふわっと削ることで、頭がキーンと痛くならないのが不思議。「じゃばら」など熊野の特産品等を使用した自家製シロップをかけたふわりかき氷を楽しんで。

【時間】9:00～17:00 【休日】不定休 【駐車場】有
【問合せ】0735-21-5300(仲氷店)



22 徐福寿司

じょふくずし

1950年創業の老舗寿司屋。熊野の郷土料理であるさんま寿司が名物で、お店の外観を飾るさんま寿司のモニュメントも新宮駅前よく目立っています。那智勝浦産のまぐろ出汁を使用した昆布巻寿司、地魚を使用した熟成魚寿司もこだわりの逸品です。

【時間】店内飲食11:00～15:00(L.O.14:30)、テイクアウト10:00～17:00
【休日】木 【駐車場】有(1台) 【問合せ】0735-23-1313(徐福寿司)



23 新宮城跡(丹鶴城跡)

しんぐうじょうあと(たんかくじょうあと)

熊野川河口に近い丹鶴山に築かれた城跡公園。天守閣は現存していませんが、技術の粋を集めた堅牢な石垣が残されており、2003年に国史跡指定、2017年に「続100名城」に選定されています。城跡からは熊野川や太平洋、新宮市街地を広く望むことができます。

【時間】散策自由 【休日】年中無休 【駐車場】敷地内に有
【問合せ】0735-22-2840(新宮市観光協会)



24 旧西村家住宅(西村伊作記念館)

きゅうにしむらけいじゅうたく(にしむらぎねんかん)

文化学院の創設者・西村伊作が設計した自宅。大正3年当時は先進的だった「家族団らんのための居間」を中心に設計された住宅の先駆例です。近隣にある西村伊作設計の旧チャップマン邸や佐藤春夫記念館(2026年度開館予定)と共に、当時の歴史的景観をかたち創っています。

【時間】9:00～17:00 【休日】月(祝日の場合はその翌日)、年末年始
【駐車場】近隣に有 【問合せ】0735-22-6570(旧西村家住宅)



仲之町商店街



丹鶴商店街



路地裏の街並み



神倉神社から見下ろす
新宮の街並み



王子ヶ浜の風景

25 那智山青岸渡寺

なちさんせいがんとし

西国三十三所観音霊場の第一番札所。明治の神仏分離までは隣接する熊野那智大社と一体で、那智の滝を中心とした神仏習合の一大修験場でした。豊臣秀吉再建の本堂には、桃山時代の建築要素が多く詰め込まれています。本堂後方からは朱塗りの三重塔と那智の滝が望めます。

【時間】7:00~16:30 【休日】年中無休 【駐車場】有
【問合せ】0735-55-0001(那智山青岸渡寺)

世界遺産



那智勝浦

NACHIKATSUURA

人情と温泉が溢れる
海のまち。



三重塔と那智の滝

26 熊野那智大社

くまのなちたいしや

那智の滝を崇める自然信仰が起源で、317年に現・飛瀧神社の場所から今の場所に社殿を遷されました。朱色の社殿や礼殿は神聖な雰囲気漂います。境内には、八咫鳥(やたがらす)が大任を終えて石になったと伝わる「烏石」や滝の落差にちなんだ大きなおみくじがあります。

【時間】8:00~16:30 【休日】年中無休 【駐車場】近隣に有
【問合せ】0735-55-0321(熊野那智大社)

世界遺産



27 大門坂

P 大門坂観光案内所

那智山青岸渡寺

熊野那智大社

30 那智山観光センター

カフェコップ

28 補陀洛山寺

5 弁天島とお蛇浦



ゆかし湯

31 きよもん湯

34

天然温泉公衆浴場はまゆ



3 まくろが並ぶ商店街

那智勝浦町観光案内所

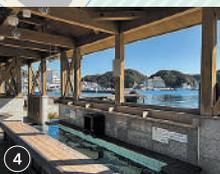


いざかた通り

熊野のめざめ

35 紀の松島めぐり

36 bodai



足湯 海乃湯

27 大門坂

だいもんざか

熊野古道の中でも当時の趣が色濃く残る場所であり、夫婦杉などの大きな木々から差し込む光や石畳が神聖な雰囲気を感じさせてくれます。昔、坂の上に大きな門があったことから「大門坂」と名付けられました。平安衣装を着て特別な古道歩き体験をすることもできます。

【時間】散策自由 【駐車場】近隣に有(無料)
【問合せ】0735-55-0321(熊野那智大社)

世界遺産



28 補陀洛山寺

ふだらくさんじ

お寺の前にある浜辺は、かつて僧が南の海のかなたにあると言われる観音浄土を目指して船出する「補陀落渡海」の出発点でした。当時使用された渡海船が境内に復元展示されています。御本尊である秘仏・千手観音は、国の重要文化財に指定されています。

【時間】8:30~16:00 【休日】年中無休 【駐車場】有
【問合せ】0735-52-2523(補陀洛山寺)

世界遺産



29 熊野のめざめ

くまのめざめ

JR紀伊勝浦駅の目の前に立地し、勝浦漁港で水揚げされた新鮮な生まぐろや熊野牛を使った地元感溢れる料理を各種提供しています。おすすめメニューは「本日のまぐろ定食」と「本まぐろトロ塩焼き定食」。どちらも勝浦ならではの海の幸を存分に味わえる逸品です。

【時間】11:00~14:00、17:00~21:00 【休日】日・月
【駐車場】敷地内に有 【問合せ】070-8912-1367(熊野のめざめ)



30 那智山観光センター

なちさんかんこうせんたー

那智山参道に並ぶ土産店の一軒。熊野三山周辺のお土産が多彩に揃っています。甘く香ばしい風味が特徴の「那智黒飴」や、幻とも言われるご当地の柑橘「じゃばら」をソースにかけたご当地ソフトが観光客に人気です。店の横には大駐車場も完備しています。

【時間】9:00~17:00 【休日】年中無休 【駐車場】有(有料)
【問合せ】0735-55-0637(那智山観光センター)



31 カフェコップ

かふえこっぺ

南紀湯川温泉近くにある、自然豊かで緑に囲まれたカフェ。夏はフワフワの大人かき氷、秋冬は本格的なピザがおすすめ。ソーセージやベーコン、パンなど、素材にこだわって丹精込めて作った自慢の逸品も販売。熊野古道大辺路を歩く人々にとって最適な立ち寄りスポットです。

【時間】8:00~17:00(金曜のみ21:00まで) 【休日】年中無休
【駐車場】有 【問合せ】0735-30-1782(カフェコップ)



32 天然温泉公衆浴場はまゆ

てんねんおんせんこうしゅうよくじょうはまゆ

地元の人たちが集う昔ながらの源泉かけ流し温泉です。暖簾をくぐると出迎えてくれる番台さん、ごちまもりした浴場は古き良き雰囲気があります。含硫黄-ナトリウム・カルシウム-塩化物温泉の源泉温度は45度(夏場は加水して41~42度)と熱々で、体の芯から温まります。

【時間】15:00~21:00 【休日】火・日 【駐車場】有
【問合せ】090-8847-7582(天然温泉公衆浴場はまゆ)



33 勝浦漁港にぎわい市場

かつうらぎょこうにぎわいちば

施設すぐ隣の勝浦漁港でその日に水揚げされた新鮮な生まぐろが味わえるお食事処をはじめ、豊富なお土産やスイーツ店などがずらりと並びます。まぐろ解体ショーも毎日開催。海に面したウッドデッキスペースが人気で、爽やかな潮風と船の出入りする様子を眺めることができます。

【時間】8:00~16:00(L.O.15:30) 【休日】火
【駐車場】無(近隣にコインパーキング有) 【問合せ】0735-29-3500(にぎわい市場)



34 きよもん湯

きよもんゆ

約1500年の歴史を持つ紀州の名湯として地元の人に愛される温泉です。湯口からは年中絶えず大量の源泉が溢れ出しており、硫黄の香りと100%かけ流しの源泉が心も身体も温めてくれます。向かいの汽水湖・ゆかし湯は文豪・佐藤春夫が命名した由緒あるスポットです。

【時間】12:00~23:30 【休日】年中無休 【駐車場】有
【問合せ】0735-52-0880(きよもん湯)



35 紀の松島めぐり

きのまつしまめぐり

南紀随一の景勝地「紀の松島」をクジラ型の船で巡ります。紺碧の海に浮かぶ海食洞穴や奇岩、雄大な熊野灘に心が奪われます。太地町立くじらの博物館への移動にもおすすめで、15:20発のコース(土日のみ)では、可愛いイルカに出会うことができます。

【時間】8:00~17:00 【休日】水 【駐車場】無(近隣にコインパーキング有)
【問合せ】0735-52-8188(紀の松島めぐり)



36 bodai

ぼだい

毎朝仕入れる新鮮なまぐろ、海鮮、地元野菜など熊野の素材を活かした料理を提供する創作居酒屋です。人気No.1の「生まぐろ中とろカツ」はサクッとした食感と、中のトロトロ感が撮りません。定食や丼メニューも充実しており、女性にも人気のお店です。

【時間】11:00~14:00、17:30~21:30 【休日】火・不定休
【駐車場】有 【問合せ】0735-52-0039(bodai)



